



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月5日

上場会社名 新東工業株式会社
 コード番号 6339 URL <http://www.sinto.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永井 淳
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート部長 (氏名) 春田 則之
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

上場取引所 東 名

TEL 052-582-9211

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	63,531	3.4	1,363	△42.3	2,175	△43.2	1,210	△46.9
26年3月期第3四半期	61,435	0.4	2,364	△13.4	3,832	15.7	2,278	19.4

(注)包括利益 27年3月期第3四半期 4,003百万円 (△46.2%) 26年3月期第3四半期 7,447百万円 (191.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	22.29	—
26年3月期第3四半期	41.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	130,806	89,316	65.1	1,568.19
26年3月期	123,540	83,365	65.3	1,486.46

(参考)自己資本 27年3月期第3四半期 85,136百万円 26年3月期 80,701百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	6.50	—	6.50	13.00
27年3月期	—	7.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	91,000	2.1	3,600	△6.2	4,500	△15.6	2,300	△18.6	42.36

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新東工業商易(昆山)有限公司
新規 3社 (社名) 韓国新東工業株式会社、除外 1社 (社名)
テクニカルメタルフィニッシング社

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	56,554,009 株	26年3月期	56,554,009 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	2,264,578 株	26年3月期	2,263,342 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	54,290,170 株	26年3月期3Q	54,292,270 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経済状況は、海外では、米国が堅調な消費需要などで成長を維持したものの、欧州は低調な景気動向が続き、中国やアセアンなど新興国経済では総じて鈍化傾向が継続しました。国内は、輸出環境や投資需要の改善などにより企業収益の回復が進みましたが、為替の悪影響を受けた業界では、厳しい状況が続きました。

当社グループの事業環境につきましては、海外では、中国やアセアン市場で自動車関連の設備投資需要が鈍化したものの、国内では、復興関連や投資補助金の恩恵を受けた設備需要に加え、設備稼働率の向上に伴う投射材やメンテナンス部品などのアフターマーケット需要によって下支えされました。

こうした情勢下、当第3四半期連結累計期間の受注高は68,652百万円(前年同四半期比2.9%増)、売上高は63,531百万円(同3.4%増)、受注残高は32,872百万円(同8.1%増)となり、海外連結子会社の為替換算による影響もありましたが、受注、売上および受注残ともに増加に転じました。

収益面につきましては、営業利益は、売上原価率が悪化したことで、1,363百万円(同42.3%減)となりました。経常利益は、為替差益が減少したことなどにより2,175百万円(同43.2%減)を計上し、四半期純利益は1,210百万円(同46.9%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[casting分野]

インドネシアなどのアセアン市場で自動車関連の設備投資が一服しましたが、中国市場での自動車関連向け製造装置や自動注湯装置の需要に加え、国内でのメンテナンス部品や設備の改造・追加工事などのアフターマーケット需要があり、売上高は21,661百万円(同1.7%増)となりました。

営業利益につきましては、売上原価率や販管費の増加の影響により699百万円(同47.3%減)となりました。

[surface treatment分野]

表面処理装置は、需要が一巡した造船や建機向けの大型表面処理設備は低調でしたが、復興需要を受けた鉄骨向けショットブラスト装置が好調に推移するとともに、国内やメキシコ市場などで自動車部品向けにショットピーニングマシンの販売が堅調でした。装置に使用する投射材は、消費税の反動減を需要家の設備稼働率の向上で物量を確保し、分野全体の売上高は、装置、投射材ともに増加して、26,767百万円(同5.1%増)となりました。

営業利益は、投射材が国内市場での価格政策の浸透を受けて改善しましたが、装置の原価率悪化等により、全体で1,723百万円(同17.0%減)となりました。

[environment分野]

水処理装置が低調でしたが、中・大型集塵装置がアルミ業界、鋳造業界向けに堅調に推移するとともに、工作機械向け小型汎用集塵機が伸長しました。加えて、アフターマーケット需要のメンテナンス部品の寄与があり、売上高は6,723百万円(同21.2%増)となりました。

営業利益は、販売増に加え、生産方法の見直しによるコストダウンにより、409百万円(前年同四半期43百万円の損失)と大幅に改善いたしました。

[transport分野]

流通業界や食品関連向けへの駆動系コンベヤ、福祉・医療向け段差解消機が堅調に推移するとともに、工作機械業界向けシザーリフトが増加傾向でしたが、北米市場での自動車部品向け搬送装置が伸び悩み、売上高は3,786百万円(前年同四半期比2.0%減)となりました。

営業損益は、販管費が増加した影響で、45百万円の損失(前年同四半期は81百万円の利益)となりました。

[special machinery分野]

自動車部品生産設備向けサーボシリンダが堅調に推移しましたが、リサイクル向け造粒装置の低迷に加え、有機EL向けなどへの精密計測装置の売上が減少し、当分野の売上高は5,343百万円(前年同四半期比10.6%減)となりました。

営業損益は、売上ボリュームの不足により、424百万円の損失(前年同四半期20百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、有形固定資産や投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ3,898百万円増加し、130,806百万円となりました。

負債合計は、賞与引当金の減少等により、前連結会計年度末に比べ303百万円減少し、41,490百万円となりました。

純資産合計は、その他有価証券評価差額金や利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ4,201百万円増加し、89,316百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

新東工業商貿（昆山）有限公司は、前連結会計年度までは持分法を適用した非連結子会社としておりましたが、重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

当社の連結子会社であるシントーアメリカ社は、平成26年6月に、テクニカルメタルフィニッシング社の発行済全株式を取得し完全子会社としたことから、第2四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。

韓国新東工業株式会社は、第1四半期会計期間までは持分法適用会社としておりましたが、株式を追加取得したことにより連結子会社となったため、第2四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。なお、同社の決算日は12月31日であり、連結決算日との差異が3か月以内であること、また、みなし取得日が平成26年9月30日のため、平成26年9月30日時点における貸借対照表のみを連結し、損益計算書は持分法を適用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下、「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取り扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が383百万円減少し、利益剰余金が249百万円増加しております。また、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,499	17,570
受取手形及び売掛金	29,414	28,993
有価証券	7,876	5,985
製品	2,447	2,828
仕掛品	3,940	5,992
原材料及び貯蔵品	3,291	3,432
その他	2,338	2,861
貸倒引当金	△213	△304
流動資産合計	68,595	67,360
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,564	12,701
機械装置及び運搬具(純額)	6,661	6,754
その他(純額)	8,451	9,117
有形固定資産合計	26,678	28,573
無形固定資産		
のれん	630	863
その他	2,004	3,043
無形固定資産合計	2,634	3,907
投資その他の資産		
投資有価証券	24,965	28,512
その他	4,062	2,479
貸倒引当金	△30	△26
投資その他の資産合計	28,999	30,965
固定資産合計	58,312	63,446
資産合計	126,908	130,806

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,811	13,326
1年内償還予定の社債	132	66
短期借入金	1,313	1,381
未払法人税等	789	250
賞与引当金	1,742	1,009
役員賞与引当金	104	79
プラント保証引当金	297	261
受注損失引当金	134	95
その他	7,775	8,317
流動負債合計	26,100	24,788
固定負債		
社債	66	-
長期借入金	7,665	7,875
役員退職慰労引当金	242	257
環境安全対策引当金	63	63
退職給付に係る負債	1,565	999
資産除去債務	114	114
その他	5,975	7,391
固定負債合計	15,692	16,701
負債合計	41,793	41,490
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,752	5,752
資本剰余金	6,269	6,269
利益剰余金	62,291	63,018
自己株式	△1,308	△1,309
株主資本合計	73,005	73,732
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,431	8,783
為替換算調整勘定	2,282	2,399
退職給付に係る調整累計額	188	221
その他の包括利益累計額合計	8,902	11,404
少数株主持分	3,206	4,180
純資産合計	85,114	89,316
負債純資産合計	126,908	130,806

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	61,435	63,531
売上原価	43,423	45,515
売上総利益	18,012	18,016
販売費及び一般管理費	15,648	16,652
営業利益	2,364	1,363
営業外収益		
受取利息	92	138
受取配当金	347	446
為替差益	434	251
持分法による投資利益	456	119
その他	316	112
営業外収益合計	1,648	1,068
営業外費用		
支払利息	117	117
その他	62	138
営業外費用合計	179	255
経常利益	3,832	2,175
特別利益		
固定資産売却益	24	29
投資有価証券償還益	90	-
負ののれん発生益	-	86
その他	0	0
特別利益合計	115	116
特別損失		
固定資産売却損	3	3
固定資産廃却損	17	13
投資有価証券評価損	19	-
段階取得に係る差損	-	17
特別損失合計	40	34
税金等調整前四半期純利益	3,907	2,257
法人税、住民税及び事業税	637	517
法人税等調整額	829	313
法人税等合計	1,467	830
少数株主損益調整前四半期純利益	2,439	1,427
少数株主利益	161	216
四半期純利益	2,278	1,210

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,439	1,427
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,549	2,351
繰延ヘッジ損益	0	-
為替換算調整勘定	2,180	120
退職給付に係る調整額	-	32
持分法適用会社に対する持分相当額	277	71
その他の包括利益合計	5,007	2,576
四半期包括利益	7,447	4,003
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,143	3,711
少数株主に係る四半期包括利益	304	291

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋳造 分野	表面処 理分野	環境 分野	搬送 分野	特機 分野	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	20,978	25,469	5,284	3,834	5,779	61,346	89	61,435	—	61,435
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	314	0	262	29	199	805	1,350	2,156	△2,156	—
計	21,292	25,470	5,547	3,864	5,978	62,152	1,440	63,592	△2,156	61,435
セグメント利益 又は損失(△)	1,326	2,075	△43	81	△20	3,419	44	3,463	△1,099	2,364

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設計、情報関連及び福利厚生事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,099百万円には、セグメント間取引消去95百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,195百万円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費及び本社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋳造 分野	表面処 理分野	環境 分野	搬送 分野	特機 分野	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	21,289	26,767	6,436	3,738	5,221	63,453	77	63,531	—	63,531
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	371	0	286	47	121	828	1,838	2,666	△2,666	—
計	21,661	26,767	6,723	3,786	5,343	64,282	1,916	66,198	△2,666	63,531
セグメント利益 又は損失(△)	699	1,723	409	△45	△424	2,362	72	2,434	△1,071	1,363

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設計、情報関連及び福利厚生事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,071百万円には、セグメント間取引消去102百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,173百万円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費及び本社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

関連情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

地域ごとの情報

売上高

日本	中国	アジア	北アメリカ	ヨーロッパ	南アメリカ	合計
32,093	9,766	6,042	6,552	3,537	3,444	61,435

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基本とし、国又は地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア……………アセアン諸国・台湾・韓国・インド
- (2) 北アメリカ……………アメリカ・メキシコ
- (3) ヨーロッパ……………ドイツ・ロシア・トルコ
- (4) 南アメリカ……………ブラジル

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

地域ごとの情報

売上高

日本	中国	アジア	北アメリカ	ヨーロッパ	南アメリカ	合計
36,748	7,773	5,255	5,226	4,959	3,569	63,531

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基本とし、国又は地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア……………アセアン諸国・台湾・韓国・インド
- (2) 北アメリカ……………アメリカ・メキシコ
- (3) ヨーロッパ……………ドイツ・スウェーデン・ロシア
- (4) 南アメリカ……………ブラジル